

7月の行事

- 1日 ⑦事務局会議
- 7日 鹿児島県知事選挙投票日
- 10日 第2回合同定例会 19:30 開始
- 14日 一斉海岸清掃 7:00 開始
- 15日 磯清掃&磯クレーション 9:00 出発
- 16日 ⑧事務局会議
- 18日 新テッポウユリ駆除作業 8:00 開始
- 21日 グランドゴルフ大会 海星中
- 19日 スポーツフェスタ説明会 長浜地区コミ
- 28日 ゴールド集落自主活動日

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和6年度7月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村史博

令和6年7月12日発行

薩摩川内市下甕町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

雨が多い今年室外の行事がことごとく予定どおりになっていないように思います。そのすき間をぬってうまく割り込みました。従って平日（水曜日）に実施されたのですが、畠名の皆さんがされました。ありがとうございました。

今年は裏庭からはいえる道路の石垣部分や、小遣い室のあった場所（今はコミカンが生えている）ところ等、手が加えられました。予定では2回目運動会の前、3回目助八古道を歩こうかいの前に行われます。



6月19日旧西山小学校本年第1回目の草刈り行事に25名の皆さんが参加されました。

河川愛護運動

6月の地域内清掃は以前から河川愛護運動を重点的に取り組んできました。今年も6月第3日曜日に実行しました。



上自治会の参加者



下自治会の参加者

参加者の皆さんありがとうございました。これから盆に向かって夏草との戦いです。今月は行事を一週間前にずらして14日一斉海岸清掃に当たります。翌日は海岸清掃を兼ねた磯クレーションを行う予定です、皆さんときには余裕をもつてミナカツギやセンモンといを楽しみましょう。9時出発の予定です。

6月15日

カイモ植え 17名参加

この頃は農作業の季節が前方へ大きく移動しているように思います。確かに田圃をつくらなくなったせいかもしれない。毎年のように皆さん元気良くカイモ植えに参加して頂いています。

4月10日に製造したヨモギと一緒に秋には餅になります。島内の皆様の中には西山地区コミの「こっばん餅、クサン餅」のファンが多く芋が生育中なのにあいませんかとの問い合わせがあります。



今年の竜宮文化フェスタは11月24日手打だそうです。そこに第一回目の製造を合わせる予定です。今しばらくお待ちください。
ー芋畑はこと旧西山中学校小使い室の上です。

シリーズ16

故郷を深く浅く探る

榎（えのき）の効用 中村史傳

昭和八年一月十一日に手打から片野浦を経て同日の夕方瀬々野浦についた民俗学者の桜田勝徳（さくらだかつのり）は翌一月十二日の日記にこう記す。『昨夜の風雨はやみ濤声（とうせい・なみおと）のみが高く寒い。この瀬々野浦には二つの小川が流れこれが落ちていく。そのうちの一つは部落の中央を流れておりこれに沿う家々は川戸生活を営んでいる。この川岸に榎の並木がある。』

かつて桜を栽（う）えたが風が荒くてそたない、それで榎にしたという。春になるとこの並木は良い緑蔭（りよくいん・木かげ）をつくるだろう。』

部落の中央を流れる小川とは古町川のことだろう。そして古町川の川岸は「榎の並木」と表現するほどの榎が多かったのだ。

この榎の並木は昭和二十年十月十日の洪水で流れ去ったのだろう。この榎並木の話は祖父母や両親からも聞いたことはなかった。日常見ている者には当たり前すぎて、旅人には目新しく感じるからだろう。

戦後生まれの私でも榎が村中にも多かったことは記憶する。ポッカチイの弾丸に利

用していたし秋口には黄色くなった実をたまに口にすることもあった。（少し甘味はあったが、うまくなかった）

それより小枝についた葉っぱは枯らして肥料にしていた。田植え前の刈敷（かしき）の敷き込みにはカロウガスワ（カラムシ）とともに大事な緑肥だったのだ。

村中に多かった榎が少なくなったのは化学肥料を使い、農業が衰退する時期と一致するような気がしてならない。

※桜田勝徳の「甕島遊記による」。今目に付く榎は給食道路脇の大谷さんが畑を作っていた辺りに一本だけあります。

甕島振興局からの情報提供

災害に備えましょう

本格的な大雨、台風シーズンを迎え自分のお住まいや勤務先、子供さんの行動範囲で、どのような危険があるのか大雨などの災害に応じた避難や連絡手段を今一度ご家族で話、確認を取って下さい。ー以下略



7月1日一回目のクエにきづきました。7月8日には大きくなっていました。皆さん災害の意識を忘れないようにしましょう。